



アジア連帯委員会（CSA）ホームページで振り返る 2021年9月～2022年9月事業と活動ダイジェスト

目次

2021.09.30	▶▶	第41回定期総会を開催	2
2021.10.18	▶▶	ラオス・パチャオ村小学校フェンス設置工事が完了しました	3
2021.11.17	▶▶	日本在住ベトナム人協会からCSAが 寄贈したマスクの配布報告が届きました	4
2021.11.26	▶▶	コロナの感染拡大が深刻化するラオスへマスクを寄贈しました	5
2021.12.13	▶▶	タイ・社会開発福祉省へ救援衣類の 代替支援・不織布マスクを寄贈しました	6
2022.01.17	▶▶	ラオス・タイ両政府からCSAにマスク支援の感謝状が届きました	7
2022.02.09	▶▶	ラオス・シーセンマイ中学校の補修が完了しました	8
2022.03.04	▶▶	ラオス・ナラオ村小学校の新校舎建設に着手します	9
2022.03.23	▶▶	第45回常任理事会、第23回評議員会を開催しました	10
2022.04.09	▶▶	「ベトナム建国記念日交流祝賀会」に出席	11
2022.04.29	▶▶	第93回連合メーデー中央大会に出展	12
2022.05.26	▶▶	ラオス・コアティヌン小学校の現地レポートが届きました	13
2022.06.13	▶▶	ラオス・ナラオ村小学校建設・ シンフォニアテクノロジー労組から協賛金受領	14
2022.06.21	▶▶	ラオス保健省を訪問しCSA事業の意見交換	15
2022.07.20	▶▶	【重要】「救援衣類を送る運動」中止のお知らせ	16
2022.08.05	▶▶	ラオス・サンティパープ高校CSA寮の 卒業生へ記念品をプレゼントしました	17
2022.08.24	▶▶	CSA第24回評議員会を開催しました	18



2021.09.30 第41回定期総会を開催



▶ 澤田会長と事務局長



▶ 逢見連合会長代行ご挨拶



▶ ご参加の皆様

アジア連帯委員会第41回定期総会は、9月30日連合会館をホスト会場としてWEB方式にて開催されました。設立40周年となる今年の総会は、本来であればその節目にふさわしく、総会と併せて40周年記念式典等を企画すべきところですが、コロナ禍によりZoom会議方式の開催となりました。

総会は山根木副会長の開会挨拶から開始し、役員、代議員、傍聴者50名の出席報告と本総会の規約上の成立を確認し、その後澤田会長がアジア連帯委員会(CSA)代表挨拶、来賓としてご臨席された連合の逢見会長代行から挨拶を受けました。

報告と議案の審議は、鈴木事務局より2020年度事業報告及び2020年度年度会計報告を行い、森常任理事が会計監査報告を代読し、すべての報告事項が承認されました。

引き続き、協議事項に入り、2021年度事業計画と予算を鈴木事務局が一括提案し確認され、続いて役員の一部改選について提案し、満場の拍手で決定されました。

今年の総会は初めてのWEB開催で、また短時間の開催でしたが、出席者や関係者のご理解ご協力により成功裏に終了しました。



2021.10.18 ラオス・パチャオ村小学校フェンス設置工事が完了しました



▶ 入口にカネボウ労組とCSAのロゴ



▶ フェンス全体写真



▶ 鉄筋コンクリートのフェンス

ラオス・パチャオ村小学校のフェンス工事完了連絡が、10月17日CSAラオスコーディネーターから届きました。同校はラオスへのCSA23番目校としてカネボウ労働組合の寄贈により、ラオス北部の山間部に2011年建設されました。

今回の設置工事は、ラオスでの新型コロナウイルスの感染拡大は一向に好転せず、4月から今もロックダウンが繰り返し発令され、工事日程は大幅に遅れざるを得ませんでした。

7月のCSAニュースで既報のとおり、ラオスは国内の製造・生産品が非常に乏しく、基本的に建築資材を含め、生活する上で多くの品々は海外からの輸入品で成り立っている現実があります。コロナ禍により資材調達の遅れと工事者の外出も制限される等の状況もありましたが、現地コーディネーターと緊密に連絡とりながら工事をすすめ、このたび完了することができました。



2021.11.17 日本在住ベトナム人協会からCSAが寄贈したマスクの配布報告が届きました



▶ 会長代行から女性には小マスクを配布



▶ 若いメンバーから先輩へ

CSAは本年9月、新型コロナウイルスの感染長期化により、雇用や学業の場を失う等、厳しい状況にある日本在住ベトナム人、カンボジア人の方々に不織布マスクの支援を行いました。

11月17日、日本在住ベトナム人協会の南海会長代行から、協会主催の「日本在住ベトナム人世代間親睦交流会」が催され、その際CSA寄贈のマスクを参加した会員に一箱ずつ配布し、大変喜ばれたとの謝辞とともに、その際の写真が届きました。

特にマスクは普通サイズと「小さめ」サイズの2種類を送りましたので、女性や子供達にも小さな気遣いが喜んでもらえたようです。

CSAは日本在住ベトナム人協会と在日カンボジアコミュニティ等にマスクの支援を行いました。平行してタイとラオスへ現地調達によるマスクの支援も現在すすめています。



2021.11.26 コロナの感染拡大が深刻化するラオスへマスクを寄贈しました



▶ マスクの箱には日本国旗とCSAロゴ



▶ 中央左CSA代表、右保健省副大臣

ラオスの新型コロナウイルス感染状況は、2021年11月現在、長期間ロックダウンを継続しているにもかかわらず感染者が増え続けています。ロックダウンの長期化により、国内経済は停滞し、生活に困窮する人々は増加しています。

CSAはコロナ前まで毎年、支援団体・支援者と連携し、救援衣類を送る運動を36年間、継続して実施していました。しかし2021年もコロナの影響は続き、コンテナ不足等により海上輸送が困難となった為、CSAは支援団体と協議し、救援衣類の代替支援として、現地調達によるマスクの寄贈を決定しました。

その決定を受けCSAのラオス現地コーディネーターと準備をすすめ、不織布マスク150,000枚を寄贈しました。11月26日ラオス保健省内で引き渡し式が行われ、その後ビエンチャンから各地の深刻化するラオスの困窮する人々へこのマスクは配布されます。



2021.12.13 タイ・社会開発福祉省へ救援衣類の代替支援・不織布マスクを寄贈しました



▶ タイ社会開発福祉省マスク寄贈式



▶ 左 福祉省局長代理チョークチャイ氏
右 CSA代理出席JILAF関口氏

CSAは救援衣類の代替支援としてタイ社会開発福祉省へ不織布マスク(150,000枚)を寄贈しました。

これは9月30日開催の総会において確認された2021活動計画に基づき、「救援衣類を送る運動」が、世界的なコンテナ不足により従来どおりの海上輸送が困難となった為、衣類に代わる支援として行いました。

既報のラオスへのマスク寄贈完了後、国際労働財団(JILAF)タイ事務所の協力を得て、タイ国内(バンコク)で普通サイズと小さめサイズの不織布マスクを調達し、タイ社会開発福祉省へ寄贈しました。

コロナ前は毎年1月ワーキング・スタディ・ツアー視察団が訪問した際に、タイ・社会開発福祉省主催で、救援衣類の寄贈式は行われてきました。今回のマスクの寄贈式も社会開発福祉省内で開催され、チョークチャイ局長代理が出席し、CSAからはJILAFタイ事務所の関口所長に出席して頂き、マスクの引き渡しとCSAのメッセージを代読して頂きました。

新型コロナウイルスの長期化の影響により、タイの生活に困窮する人々へ、日本の勤労者団体等からの支援品として今月から順次配布されます。



2022.01.17 ラオス・タイ両政府からCSAにマスク支援の感謝状が届きました



▶ ラオス保健省からの感謝状



▶ タイ社会開発福祉省からの感謝状

既報のとおりアジア連帯委員会（CSA）は救援衣類の代替支援としてラオスへ150,000枚（2021年11月）タイへ150,000枚（2021年12月）の不織布マスクを寄贈しました。この支援活動に対する感謝状が、にラオス保健省並びにタイ社会開発福祉省から届きました。

ラオス・タイ両政府からの感謝状の骨子は『CSAの支援に担当省を代表して衷心より感謝を申し上げます。この度の不織布マスクは、新型コロナウイルスのパンデミック等により国内の困窮する人々に配布してまいります。CSAの継続的な慈悲深い支援は高く評価され、そして感謝されています。私たちはCSAに関係する全ての皆様の健康と幸福そして繁栄を願っています。今後ともよろしく願いいたします』

救援衣類の代替支援として、不織布マスクをラオス・タイで現地調達して寄贈しました。この支援が些少ではありますが、現地の新型コロナウイルス対策の一助になれば幸いです。このマスク調達費用は、評議員会で確認の上、輸送募金を主たる原資として具体化することができました。引き続き輸送募金へのご理解・ご支援をお願い致します。

2022.02.09 ラオス・シーセンマイ中学校の補修が完了しました



▶ 補修前の校舎屋根



▶ きれいに塗り替えられた校舎

ラオス・シーセンマイ中学校の補修工事が完了しました。当校はアジア連帯委員会（CSA）の9番目校としてビエンチャン県ラドクォイ村に2000年建設し開校しました。建築後20余年を経過し、屋根と天井の傷みが著しく、校長先生からCSAに補修の要請が届いていた案件です。

CSAはコロナ禍により直接現地を訪問することが出来ない状況が続いている為、ラオスのCSAコーディネーターに

現地調査を依頼し、現況写真・動画による報告を踏まえ、屋根・天井・トイレ等優先度の高い補修を実施し、このたび完了することができました。

ラオスは昨年4月からロックダウンが続いて、昨年秋頃の時点では2022年初頭には出入国が可能になるような情報もありましたが、昨年末頃からオミクロン株の感染者が急増してしまい厳しい状況が続いています。

CSAは今回のシーセンマイ中学校の補修事例のような方式も含めて、2020 ワーキング・スタディ・ツアーで訪問した際に、現地で直接要請を受けたナラオ小学校の補修に着手できるように現在準備をすすめています。



▶ 補修完了の確認書を受け取る校長先生（中央右）と先生の皆さん



2022.03.04 ラオス・ナラオ村小学校の新校舎建設に着手します



▶ 現在の手作りの校舎

ラオスの子供達の中には義務教育でありながら、通学可能な範囲に学校が無い為に、大切な初等教育を受ける権利を享受できない子供達が現在も多くいます。アジア連帯委員会（CSA）は、1995年から支援団体・個人の募金を源泉にラオスへ小学校をこれまで24校建設してまいりました。2001年に11番目校となるラオスビエンチャン県ナラオ村に小学校を寄贈しました。

新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月末に、CSAワーキング・スタディ・

ツアーにおいて訪問団が視察・点検を目的に当校を訪問しました。その際校長先生から、「ラオスの子供達へのCSAによる小学校建設と継続的な支援に心から感謝します。本校は開校以来近隣の子供達は元より、子供を学校へ通わせる為に、家族で引っ越してくる人々も相当数あり、生徒は年々増加して現在の校舎では対応できなくなっています。現在先生と生徒父兄の手作り校舎で苦勞しながら勉強しています。雨の日も授業ができるような、新校舎の建設を是非お願いします」との要請を受けました。

以来CSAはラオスの現地コーディネーターと連携して現状再調査・建築概算費用算出等の準備をすすめてまいりました。そしてこのたび現況写真とCSA寄贈校の建築実績があるラオスの建設会社から新校舎提案書が届きました。

CSAはナラオ村小学校の建設に向けて、具体化をすすめたいと思います。小学校建設募金の継続と併せて、この新校舎建設に賛同・協賛してもらえるスポンサーを団体・個人会員のみならず幅広く募ります。

ご質問、詳細のお問い合わせ等ございましたら、ホームページ右上の「お問合せ」からお願いします。



▶ 校舎の内装



2022.03.23 第45回常任理事会、第23回評議員会を開催しました



▶ 開会あいさつ 澤田会長



▶ 評議員会風景

3月23日アジア連帯委員会は、第45回常任理事会並びに第23回評議員会を連合会館内会議室で開催しました。今回の会議は全国の蔓延防止重点措置が解除され、昨年の3月の同会議以降1年ぶりの対面によるリアル会議方式で行いました。

常任理事会では評議員会で審議する内容を確認し、その後開催の評議員会は35名の出席者と25団体会員の委任報告を受け、冒頭に澤田会長から開会挨拶と評議員会の成立を確認した上で、報告事項、協議事項について審議しました。

今回の評議員会は、新型コロナウイルスやコンテナ不足等による海上輸送が混迷の長期化により2年延期となっている救援衣類を送る運動の今後と、小学校建設事業の25番目校建設の具体化等、重要な案件を審議する場となりました。

鈴木事務局長から報告事項を一括して説明し確認され、続いて議案①「第37次救援衣類を送る運動」今後の対応②ラオス小学校建設25番目校の具体化③新校建設に伴う補正予算④第42回定期総会の開催について提案し、「救援衣類を送る運動」の今後については、各団体会員からの意向を4月6日までに集約し、4月末までに基本方向を決定することとしました。②③④議案は提案どおり可決決定されました。

※「救援衣類を送る運動」の今後については、決定したいホームページに掲載します。



2022.04.09 「ベトナム建国記念日交流祝賀会」に出席



▶ 来賓あいさつ鈴木事務局長



▶ 参加者全員にマスクをプレゼント

4月9日、日本在住ベトナム人協会主催の「ベトナム建国記念日交流祝賀会」が、大田区六郷地域力推進センターで開催されました。この祝賀会は毎年4月にベトナム建国記念日に際し、難民救援団体やこれまでにお世話になった方々に対して感謝の意を表するとともに、日本在住のベトナム人同志の定期交流会として開催されています。昨年同様にコロナ禍のため、感染防止対策を徹底するとともに、開催時間と内容に工夫を凝らし、①ベトナム伝統の先祖礼拝式②来賓あいさつ③活動報告と計画の意見交換の式典が行われ、その後交流会が行われました。

CSAは毎年この催しに招待されており、来賓として招かれた鈴木事務局長は「世界的な新型コロナウイルス感染拡大は長期化しており、皆さまの中にも友人・知人を含めて、これまでの日常とは違うさまざまな変化や難題に直面している方々もいらっしゃるかと拝察致します。このような時は正しい情報の共有化が大変重要だと思います。そのような面でも貴協会はますます期待される存在だと思います。このようなときだからこそCSAも支援団体のひとつとして一層連携を強化してまいります」と激励と連帯のメッセージを述べました。

当日会場にてCSAから参加者のみなさんに不織布マスクをプレゼントしました。



2022.04.29 第93回連合メーデー中央大会に出展



▶ 当日のCSA出展風景



▶ 連合芳野会長も激励に駆けつけて頂きました
左から澤田会長・連合芳野会長・鈴木事務局長

4月29日CSAは、連合第93回メーデー中央大会に出展しました。

連合中央メーデーは、コロナの感染拡大に伴い2020年、2021年と大規模集会形式の開催はできませんでしたが、今年は代々木公園にて規模と時間を縮小・短縮して従来どおりの形式で行われました。

当日は午後から雨予報で、季節はずれの肌寒い陽気となりましたが、CSAのテントは多くの支援者の方々にお越し頂くことができました。

CSA事業の活動紹介パネル・写真展示、ラオスやタイの手工芸品やビアラオ等を募金の返礼品として用意し、メーデーに参加した支援団体の役職員やOB、一般参加者が来場し、募金に協力して下さいました。

支援団体、支援者皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



2022.05.26 ラオス・コアティヌン小学校の現地レポートが届きました



▶ コアティヌン小学校全景



▶ 教室の生徒たち
(マスクはまだ必須のようです)

CSAがラオス教育支援事業としてJP労組と連携し2003年に13番目校として建設・寄贈しました、コアティヌン小学校の現地レポートが5月26日届きました。

今回のレポートはCSAラオス人コーディネーターで、サンティパープ高校寮（CSA寄贈寮）1期生のヌーソン氏に依頼し、今月中旬に同校の所在地であるルアンパバン県（世界遺産の古都）に出張してもらい、校長先生・生徒と面会し、現在の状況等をうかがいました。

レポートの骨子は、①CSAがこの小学校を建設してくれたので、学校に今まで行くことが出来なかった子供たちが勉強できるようになり、生徒と父兄は大変喜んでいきます。学校代表者としてCSAとその支援者の方々に心から敬意とお礼を申し上げます②生徒数は年々増えており、中には1時間歩いて学ぶ生徒もいます③2003年の完成から約20年たちましたが、生徒たちは大切に校舎を使っていて、父兄による修繕も随時おこなっています④ただ写真にもありますが、屋根が古くなって雨漏りする教室もあり雨の日は苦勞します⑤昨年はコロナの感染防止で休校の期間も多くありました⑥2年前に日本からCSAの訪問団が来てくれました、コロナの状況がよくなりましたらまた是非来てください。などのレポートとともに写真も届きました。

CSAは今後も皆様とともに必要な支援を継続します。



2022.06.13 ラオス・ナラオ村小学校建設・シンフォニアテクノロジー 労組から協賛金受領



右・シンフォニアテクノロジー労組
森岡委員長
左・目録を受け取る澤田会長



右・シンフォニアテクノロジー労組
吉留書記長
左・鈴木事務局長

6月13日、東京芝CSA事務所にシンフォニアテクノロジー労働組合（電機連合）の森岡委員長と吉留書記長が来訪され、ラオス25番目の寄贈校となるナラオ村小学校新校舎建設の協賛金を受領しました。

森岡委員長から「ラオスの教育支援・小学校建設募金として金500万円、組合員の善意を寄付致します」と記載された目録をCSA澤田会長に手渡しました。

澤田会長から「組合員のみなさんからのこの度の善意に敬意と心から感謝申し上げます」とお礼を述べ、その後、鈴木事務局長から現在の新校舎建設の準備状況と着工から完成までのプロセス等について説明しました。

ナラオ村小学校の既存校舎は、CSA11番目寄贈校として2001年に建設しました。この近隣には他に小学校が無い為に、近隣の村から通う児童が増え、現在の校舎だけでは新入生を受け入れられなくなっていると、2020年のワーキング・スタディ・ツアーで訪問の際、校長先生から報告を受けました。さらに新校舎建設の要請を受け、CSAとしてこのプロジェクトを検討してきました。このたびシンフォニアテクノロジー労組の協賛を得て具体化することができました。

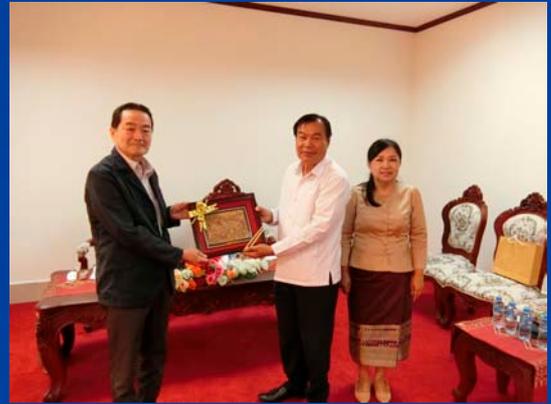
これまでの準備活動同様にラオスのコーディネーターと連携し、2023年の完成を目途にすすめます。



2022.06.21 ラオス保健省を訪問しCSA事業の意見交換



駐日ラオス大使館
右 ソムポン参事官
左 鈴木事務局長



ラオス保健省
ソムチット事務次官から
マスク支援感謝状と楯の贈呈

アジア連帯委員会(CSA)は、ラオスへの支援事業として山岳地域や日常生活にも困窮する人々の救済を目的とした救援衣類の支援や、教育支援として義務教育さえ近隣に学校が無い為に学びの機会を失う子供たちの救済として小学校建設等の支援を40年余り継続して行っています。

コロナの感染拡大が改善傾向となったラオスが、5月9日から通常入国が可能となったことをうけて、CSAは現地に事務局長を派遣し、保健省並びに教育省を訪問し情報交換と当面の支援に関する意見交換を行いました。現地訪問に際して事前に駐日ラオス大使館を訪ね、ラオスへの支援に関する事前の意見交換も行いました。

今回のレポートは救援衣類に関して保健省を訪問した際の概要を掲載します。

6月21日首都ビエンチャンにある保健省において、鈴木事務局長とソムチット事務次官の会談が行われました。冒頭事務次官からCSAが昨年行った救援衣類の代替支援としての不織布マスク150,000枚寄贈(2021年11月)に対する謝辞とともに、感謝状と楯が手渡され、その後、コロナ禍にある両国の現状と保健省に係る支援について意見交換が行われました。この中で事務局長は、救援衣類輸送に関する現下の輸送問題に言及し、当面の支援のあり方等について実務的な協議が行われました。

事務次官は、「CSAの長年に亘る慈悲深い支援はラオス国内でも高く評価されており、昨年マスク支援等、今日的な課題への支援を含む継続的な支援を期待します」と述べました。本省の会談を終え事務局長は、保健省倉庫に移動し管理責任者と面会し、事務次官と行った会談内容等を説明し、倉庫責任者からは支援物資の現状報告を受けました。

今回の一連の訪問により得られた現地の意向と情報は、今後のCSA事業に取り入れ、皆様からの各募金の有効活用を念頭に持続的な支援を着実に実行してまいります。



2022.07.20 【重要】「救援衣類を送る運動」中止のお知らせ

本年秋の実施を目指して諸準備をすすめてまいりましたが、救援衣類のタイ・ラオスへの輸送は、現下の原油高による海上輸送費の高騰、急激な円安とその常態化による、米ドル支払い額の高額化、さらに輸送に伴う規制対応等、新たな費用の発生によりダンボール1箱の輸送費が3,000円程度におよぶ状況となり、7月20日臨時役員会を開催し、本年度の救援衣類を送る運動は中止することと致しました。

CSA支援者の皆様には、救援衣類とさらに輸送募金にご支援を頂いており、確実な現地への到着も懸念される現状を踏まえ、海上輸送による救援衣類は、輸送課題が解決できない間当面中止致しますが、昨年実施した現地調達によるマスク支援のような代替支援は行います。

衣類に代わる支援は、募金により行うことが可能となりますので、このような事情をご理解賜り、引き続きご支援頂ければ幸甚に存じます。

皆様からのご意見・ご提案及び支援国の意向を踏まえた上で、新たな支援を行う予定ですので、その内容が決まりましたら改めてご案内致します。

ご理解・ご了解の程お願い申し上げますとともに、重ねて引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年救援衣類の代替支援として、輸送募金を原資にタイ・ラオスへ現地調達による不織布マスクを寄贈しました。その感謝状が両国担当省から感謝状が届きましたので、ご高覧頂き度存じます。よろしくお願いたします。 <7頁>

*救援衣類を送る運動中止に関し、臨時常任理事会を開催しました

1. 第46回(臨時) 2022年4月18日(水) ZOOM開催 ホスト会場CSA事務所
 - ・第37次救援衣類を送る運動 団体会員意向確認結果について
 - ・ラオス小学校建設・補修について
2. 第47回(臨時) 2022年7月20日(水) ZOOM開催 ホスト会場CSA事務所
 - ・「第37次救援衣類を送る運動」中止について
 - ・2022年度事業計画について



2022.08.05 ラオス・サンティパープ高校CSA寮の卒業生へ記念品をプレゼントしました



▶ 卒業生へ記念品贈呈



▶ 寮の卒業生全員が出席

去る6月23日に開催されたラオス・サンティパープ高校生寮の卒業式にCSAから事務局長が出席しました。ラオスはコロナ感染拡大による入国規制が2020年2月から2022年5月まで実施されていました。6月に通常の入出国が可能となったことを受け、CSAから卒業記念品、さらに全国試験優秀者へ優秀賞品を直接生徒たちに手渡すことができました。

式典後には生徒たちとの交流と先生も加わり意見交換を行いました。コロナによる寮生活はさまざまな新たな課題も見えてきましたが、昨年CSAが行ったトイレ・シャワー修理は、寮生達に大変よろこんでもらえたようです。

サンティパープ高校はラオス北部のルアンプラバン県、世界遺産でも知られるこの町にあります。この高校にCSAは、2002年寮を建設・寄贈し、現在も寮生の食費等の支援を行っています。この寮の建設は、優秀な学力を有した生徒でありながら、貧困や遠隔地等の理由で進学をあきらめていた生徒の為に、男子・女子とも入居可能で、食事の提供も可能な寮を寄贈し、学習意欲のある若者の救済を目的としてラオスの教育省からの要請もあり、CSAが建設し運営の支援を継続しています。



▶ 寮生・先生も加わり集合写真



2022. 08. 24 CSA第24回評議員会を開催しました



▶ 開会あいさつ 澤田会長 ▶▶



▶ 評議員会風景 ▶▶

8月24日(水)、CSAは第24回評議員会を連合会館内会議室で開催しました。

コロナ禍の開催となりましたが、常任理事8名評議員25名の出席頂き。澤田会長から開会挨拶と評議員会の成立を確認した上で、その後、報告事項、協議事項について審議し、報告・議案とも満場の拍手で確認されました。

冒頭の会長挨拶要旨を以下に掲載します。

第24回評議員会挨拶（要旨）

本日は、第24回評議員会にご参集いただき感謝申し上げます。

3月23日に開催した第23回評議員会から約5カ月が経過しております。

この間、ロシア軍のウクライナ侵略は依然継続されています。新型コロナウイルスはオミクロン株の猛威により第7波と言われる感染者増が続いており、医療現場の危機が深刻になっています。さらに米ドルに対する円安傾向は改善されておらず、輸入品価格の高騰が顕著となっています。この間、集荷・輸送にかかわる国内の関係先と調整するとともに、6月18日から26日の間、鈴木事務局長がラオスに赴き、関係する政府機関とも調整を行ってきました。

結果として、7月21日に開催した第47回臨時常任理事会で、当面救援衣類を送る運動は難しいと判断し、これに代わる支援を検討していくこととしました。

この結果については、すでに会員の皆様方にご連絡したところです。

ラオスの小学校建設については、25番目校の建設に関して、シンフォニアテクノロジー労働組合が協賛いただけることとなり、CSAとの共同建設の形で現地と契約し、工事が進行しています。シンフォニアテクノロジー労働組合のご支援には心から感謝申し上げます。一方で、契約がドル建てのため円安で大変厳しい面もありますが、何とか来年の竣工・引き渡しに繋がりたいと考えています。